

ワイドえひめ

シニア世代、いきいき

WIDE EHIME

おじいちゃんはムキムキマン。娘や孫からそう呼ばれる新居浜市菊本町1丁目、スポーツジム経営斎藤忠男さん(73)は今も第一線で活躍するボディービルダーだ。

2013年、東京で開かれた国内最大の大会「日本マスターズボディービル選手権」の70歳以上の部で2位に輝き「今年こそ優勝」と厳しいトレーニングに励んでいる。

新居浜・斎藤さん

大けが克服 筋肉美健在



鍛え上げた自慢の肉体美

ボディービル競技は

音楽に合わせて得意のポーズを決め、筋肉の発達や密度、輪郭の美しさなどを競う。

32歳のとき、健康のために市内に初めてできたジムで筋力トレーニングを始めたのがきっかけだ。ジムで筋力トレーニングを始めたのがきっかけで、肉体美を追求するボディービル競技に魅せられた。35歳で出場した第9回県ボディービル選手権大会で優勝するも、以降の全国大会や西日本大会では良くて10位前後。思う結果が出せずについ

た。

それでもあきらめず

に腹筋運動800回などハードな練習を続け、50代後半になりようやく努力が実を結んだ。1999年、2000年と四国大会を連覇、02年には日本マス

ターズボディービル選手権で念願の初優勝を果たす。

70歳を過ぎても頑張れば筋肉は発達する

73歳 再起誓い国内2位



大けがを克服してトレーニングに励む斎藤さんが、毎日3~5時間の走り込みやマシントレーニングで脚を徹底的に鍛え上げた。大腿(だいたい)四頭筋がくつきりと浮き出て、競輪選手並みの太さを誇る大ももを武器に、10年から再び同選手権に出場、上位入賞を続けていた。

70歳を過ぎても頑張れば筋肉は発達する

70歳を過ぎても頑張れば筋肉は発達する

70歳を過ぎても頑張れば筋肉は発達する

70歳を過ぎても頑張れば筋肉は発達する

(末光徹)

